

第5回うきは市議会一般質問通告書

令和7年12月5日

質問 順	議席 番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の 相手
1	9	岩淵 和明 議員	<p><b>1. うきは市の子ども子育て支援について</b></p> <p>うきは市の年少人口は、令和7年（2025）8月現在、総人口の11.29%3049人と平成28年（2016）12月末と比較し1.21%774人の減少となっている。政府は、令和8年（2026）4月から新たに「子ども・子育て支援金制度」を導入し、全世代・全経済主体から医療保険に上乗せして所得に応じて、3年間段階的に引き上げながら負担する制度を開始する。社会全体で子ども・子育て世帯を応援することは重要であるが、地方自治うきは市の「子育て支援」施策について伺う。</p> <p>（1）就学援助について、令和6年度から支援の対象範囲を拡充しているが、以下のとおり周知内容の見直しが必要と考える。所見を伺う。</p> <p>①援助対象の範囲について、「生活保護基準額の1.3倍未満」としている。事例として示している4つについて、所得算定額に「ひとり親加算額」「扶養控除額」を加算して記載すること。</p> <p>②ホームページ等に挙げている援助対象世帯となる世帯6項目の記載について、6番目を「1～5にあてはまらないが、世帯全員の収入が少なく生活が非常に苦しい場合」との記載に変更すること。</p> <p>（2）3号認定（3歳未満児）児童保育料の算定基準について、「住民税所得割課税額」による階層を見直し、保育料の引き下げ、減額制度の拡充を以下のとおり図る必要があると考えるが、所見を伺う。</p> <p>①現行第3階層から第9階層の刻みを見直し、所得に対する負担比率の低減を図ること。</p> <p>②住民税課税の均等割のみの世帯への減額階層の新設を図ること。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p>

第5回うきは市議会一般質問通告書

令和7年12月5日

質問 順	議席 番号	質問者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	質問の 相 手
1	9	岩淵 和明 議員	<p><b>2. 物価対策について</b></p> <p>実質所得の低下が継続する中、食料品を中心に価格高騰が継続しているが、うきは市の取組み方針について所見を伺う。</p> <p>(1) 「学校給食食材費補助」「給食支援事業補助」「保育所等給食支援金」「幼稚園給食支援費補助」「学童保育支援」等公益事業への支援。</p> <p>(2) 市内任意民間が主催する「子ども食堂」食糧費（運営費含む）支援交付を受けている団体への支援。</p> <p>(3) 介護施設や介護事業所等への支援。</p>	市長
2	2	高木 亜希子 議員	<p><b>1. 公共施設等の除却事業について</b></p> <p>(1) 総務省から出された「公共施設等の適正管理について」において、除却事業も支援対象となった。また、建設業界は2025年問題等もあり、建築物その他の工作物除却費用が更に上昇していくことが明白である。本市では公共施設等総合管理計画改訂があるが、まちの変化を停滞させないために、老朽化した施設等の除却事業を先延ばししないことは重要だと考える。統合や複合化含め、方向性やスピード感について、考えを伺う。</p> <p>(2) 各自治会公民館等の除却についても同様の課題があると感じている。6月議会の組坂議員に対する答弁では「支援の在り方について検討」とされていたが、助成制度等の検討について、その後の進捗状況を伺う。</p> <p><b>2. 移住・定住施策、職場定着支援について</b></p> <p>(1) 9月議会の総括質疑の際、移住・定住施策について「Uターン者にフォーカスを当てた支援を検討」という答弁だったが、地方就職学生支援事業等に取り組む考えはあるか伺う。</p>	市長

第5回うきは市議会一般質問通告書

令和7年12月5日

質問 順	議席 番号	質問者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	質問の 相 手
2	2	高木 亜希子 議員	<p>(2) 定住施策として、各自治会・町内会等の情報オープン化や、「こども誰でも通園制度」を活用した保育所等の体験入園、移住者アンケート結果について公表している自治体等がある。若者や子育て世代への移住・定住に力を入れることを考えるならば、こうした移住の先の「定住」に向けた環境づくり・体制づくりが必要だと考える。市長の考えを伺う。</p> <p><b>3. PPP/PFI 導入の方針について</b></p> <p>(1) 導入方針について令和7年3月議会で質問した際、令和7年度中には市民に示したいとの答弁であった。取組の進捗状況、おおよその内容、今後建設等が想定される公共施設について取り入れる考えがあるのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
3	8	竹永 茂美 議員	<p><b>1. 通学路の安全確保について</b></p> <p>(1) 2025年度通学路整備の進捗状況について各小学校別に伺う。</p> <p>(2) うきは市の通学路の安全対策・整備の基本方針について伺う。また、土木費の交通安全対策事業について計画と進捗状況について伺う。</p> <p><b>2. うきは市の障がい児・障がい者の生活支援策について</b></p> <p>(1) 車いす利用者等が使用する市施設（小・中学校含む）や市道のバリアフリー化の進捗状況と整備計画について伺う。</p> <p>(2) 市内のA型就労施設が減少している。高等部を卒業した後の就職先として選択できるようA型就労施設の充実を図るべきと考えるが、A型就労施設への支援策と支援計画があるかについて伺う。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>

令和7年12月5日

4

質問 順	議席 番号	質問者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	質問の 相 手
5	4	樋口 隆三 議員	<p><b>1. うきは市地域包括支援センターの取組について</b></p> <p>(1) 地域包括支援センターが果たす役割と活動における課題は何か市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 地域包括支援センターの取組は、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、介護保険の利用の仕方、適正なサービスや機関・制度の利用につなげるための支援を行っているが、十分な配慮や支援が行き届いているか市長の所見を伺う。</p> <p>(3) 介護の問題には「介護格差」、「介護崩壊」等大きな課題が横たわっている。収拾困難状態になる前に問題解決に向けて取組の強化が求められているが、今後「介護崩壊」と言われる時代が到来しないとも限らない。介護不足や介護サービス等の課題に対する対策案について、市長の見解を伺う。</p>	市長
			<p><b>2. 小中学校体育館の空調機の設置について</b></p> <p>(1) 小中学校体育館の空調機の設置については、令和7年3月議会の一般質問において、5点ほどに整理され見解が示された。現在もその見解に変わりはなにか、もしくは新たな見解があれば、市長・教育長の見解を伺う。</p>	市長 教育長
			<p><b>3. 「こども誰でも通園制度」について</b></p> <p>(1) 「こども誰でも通園制度」は、未就園児が保育施設を利用できる新しい制度であるが、2026年度から全国で実施されることになっている。この制度の概要と懸念される点がないのか伺う。</p> <p>(2) 「こども誰でも通園制度」の準備に当たり、制度のメリット、デメリット及び課題について、どのように把握されているか、市長の所見を伺う。</p>	市長

第5回うきは市議会一般質問通告書

令和7年12月5日

質問 順	議席 番号	質問者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	質問の 相 手
5	4	樋口 隆三 議員	<p>(3)「こども誰でも通園制度」の導入により、保育現場は保育士不足と現場の負担増が深刻な課題として浮上している。どのような対策が必要か市長の見解を伺う。</p> <p><b>4. 防災士の資格取得について</b></p> <p>(1) 防災士資格取得については、近年、県内他市町村において自主防災組織のリーダーを育てようと、日本防災士機構が認定する民間資格「防災士」の養成講座を受講させ、防災組織で3年以上活動することを要件に、資格取得に必要な講座などの費用を全額助成している。当市においても導入してはどうか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
6	7	野鶴 修 議員	<p><b>1. 市道下の川～荒瀬線の一部改修について</b></p> <p>(1) 現在県道保木～吉井線の大石高見交差点については、ラウンドアバウト工事が完了し、これまでの渋滞は解消されたが、三春から大石高見交差点までの県道保木～吉井線の道幅は狭く、未だ危険な状況である。これに替わる道路として、市道下の川～荒瀬線の改良工事はできないのか。</p> <p>(2) 平成24年度に下の川～荒瀬線については改良工事に関する設計も行なわれている。しかしながら、大石交差点のラウンドアバウト工事との関係で、引き延ばされてきた経緯がある。今回交差点工事も終わったので、改めて市道下の川～荒瀬線の三春工業団地より大石堤防までの間の一部改良工事だけでも検討できないのか。</p>	市長

質問 順	議席 番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の 相手
6	7	野鶴 修 議員	<p><b>2. 浮羽究真館高校の存続に係る支援策について</b></p> <p>(1) 浮羽究真館高校に対する支援策は、現在すでに行われているところではあるが、やはり浮羽究真館高校の魅力を PR するような支援が必要ではないか。その一つに、食育を推進するうきは市としては、浮羽究真館高校の学食（食堂）の復活は重要な要素だと考える。市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 浮羽究真館高校の将来を考えたとき、地元で愛される高校にしなければならない。そのためには、浮羽究真館高校を支える組織を形成する必要があると考える。市長を先頭に究真館高校の学校長、教頭、PTA 会長、同窓会会長、さらに市教育委員、両中学校長、中学校 PTA 会長、商工会会長等で組織した（仮称）「浮羽究真館未来サポート会議」なるものを組織化することが必要だと思うが、市長の所見を伺う。</p>	市長
7	3	高松 幸茂 議員	<p><b>1. 職員の働き方改革について</b></p> <p>市民サービス向上のためには、職員が生き生きと仕事ができる環境づくりが重要と考える。働き方改革というと労働時間のことが真っ先に挙げられるが、決まった時間の中で効率よく仕事を行うには、心身の健康が重要である。嫌でもやらざるを得ない仕事と、自らやりがいを持ってできる仕事とにバランス良く取り組むことで、心身の健康を保って効率よく働くことができると思う。</p> <p>(1) 職員に兼業を認める制度の創設について 全国的に数はまだ少ないが、このような制度を導入している自治体がある。うきは市役所で導入の考えはあるか伺う。</p>	市長

第5回うきは市議会一般質問通告書

令和7年12月5日

質問 順	議席 番号	質問者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	質問の 相 手
7	3	高松 幸茂 議員	<p>(2) 会計年度任用職員(専門職)の待遇改善について 対人サービスの職種でストレスの大きい場面にも 多く接している、図書館司書、保育士、保健師、女 性相談員等の専門職での会計年度任用職員比率は どれほどか。待遇改善についてはどのように考えて いるか伺う。</p> <p>(3) 昨年度の早期退職者について 人数、年代とその理由はどうか伺う。</p>	市長
			<p><b>2. 空き家対策について</b></p> <p>空き家が次々と発生する一方で、解体されて櫛の歯 が欠けたような状態になり、景観を損なっている場所 も出てきている。</p> <p>(1) うきは市内の空き家の数は、現在どのように把 握しているか。その方法と数について伺う。</p> <p>(2) 危険空き家、管理不全空き家は現在どのように 把握しているか。その方法と数について伺う。</p> <p>(3) 空き家を活用して飲食店や宿泊施設としての活 用が進んできたが、地域との付き合いが良好にでき ているところとうまくいっていないところがある。 行政の立場で、どのように関わる事ができると考え ているか伺う。</p>	市長